

選挙公報掲載文原稿用紙（活字用）

衆議院小選挙区選出議員選挙長野県第 選挙区	
候補者氏名	

I am Japan

ひとりひとりが日本

今、我が国は危機的な状況に直面しています。30年に渡る景気低迷。苦しくなる一方の国民生活。世界では紛争が続き、食料自給率の低下、エネルギー問題、少子化や移民問題など、国の存亡に関わる課題は手つかずのまま。明るい未来が見えない社会情勢の中で、子供たちは受験戦争にもがき苦しみ、家族観や結婚観という日本人らしいアイデンティティーは破壊されようとしています。この状況を解決するには、日本人のひとりひとりが立ち上がるしかありません。政治家やテレビや新聞に任せるのではなく、ひとりひとりが日本そのものであると自覚し、考え行動する時がきたのです。

「ひとりひとりが日本」未来を変えるのはあなたの覚悟と想いです。日本はまだ間に合う。

1日本人を豊かにする

の柱

経済・産業・移民

1“集めて配る”より、まず**減税**

減税と社会保険料の削減により、国民負担率を35%に抑え、積極財政による経済成長で国民の豊かさが持続的に高まる経済構造を実現します。

2日本はまだ間に合う**“NO! 移民国家”**

労働力不足の解決を、安易な移民依存に委ねません。適正な人口計画を立て、外国人労働者の受入れと外国人の土地取得を制限します。

3**現場の人**が支える日本

製造業、建設業、運送業、医療介護福祉や警察・消防・自衛官等、現場で汗をかく方々の待遇を改善し、安心して働ける社会をつくります。

2日本人を守り抜く

の柱

食と健康・一次産業・エネルギー

4**食**は人の天なり

食を守ることは国家の安全保障そのものです。食の安全を向上させ、食料自給力を高め、国民が決して飢えることのない体制を整えます。

5**エネルギーと資源確保が生命線**

諸外国も見直しを進めている脱炭素政策を再構築します。再エネ賦課金を廃止し、安く、安全で安定したエネルギーを国内で確保します。

6**安心医療で健康国家**

過剰な医療や非効率な仕組みは見直しつつ、予防を重視した体制へ転換し、子どもから高齢者まで、すべての人の健康と安心を支えていきます。

3日本人を育む

の柱

教育・人づくり・国家観

7**子ども一人につき月10万円**

0～15歳の子ども一人につき月10万円の教育給付金を支給し、若者が子供を授かり育てたいと思える環境をつくります。

8**受験戦争からの解放**

偏差値重視の教育から脱却し、ひとりひとりの個性、強みが正当に評価される教育へと転換します。健全な人格を育む場にします。

9**日本はみんなの家**

日本の国力が衰える中で、国際情勢も緊迫してきました。「ひとりひとりが日本」という意識改革を起こし、日本の豊かさと平和を守ります。

比例は参政党

とお書きください。

参政党の政策は▶  
こちらの特設サイトから!

竹下 ひろよし

プロフィール

昭和57年生まれ、信州新町出身。様々な職を経験する中で、植木職人と出会い28歳で独立。15年間現場で働く中で、地域の農業の衰退や若者の流出、経済格差など、日本の危機を痛感。信州から日本を取り戻すために、日本人ファースト「参政党」から立候補。

参政党公認

ひろよし

たけした

受付 順位	※	受付年月日	※	年	月	日
		受付者	※			

(※印欄は記載しないこと)

長野県選挙管理委員会